

環境経営レポート

～ 2023 年度版 ～



サンデン商事株式会社

対象期間： 2022 年 10 月～2023 年 9 月

発行日： 2023 年 11 月 1 日

改訂日： 2024 年 1 月 15 日

目次

1. 組織の概要	2
2. 環境経営方針	3
3. 環境経営組織図 及び 役割・責任・権限表	4
環境経営組織図	4
環境経営 役割・責任・権限表	5
4. 環境経営目標・環境経営目標の実績	6
本社	6
五反田支社	7
5. 環境経営計画・取組結果と評価、次年度の取組内容	8
本社	8
五反田支社	9
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果 ならびに違反、訴訟等の有無	10
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	10

1. 組織の概要

・事業所名及び代表者氏名

サンデン商事株式会社
代表取締役 甲田雅一

・所在地

本社： 東京都港区新橋4-24-11
五反田支社： 東京都品川区東五反田1-8-12
大阪事務所： 大阪市中央区北久宝寺町4-3-12

・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者

本社総務部： 染澤 泰弘 TEL：03-3432-5621 FAX：03-3432-5627
Eメール：somezawa@sanden-shoji.co.jp

環境管理事務局

総務部： 小林 元子 TEL：03-3432-5621 FAX：03-3432-5627
Eメール：c.kobayasi@sanden-shoji.co.jp

・事業活動の内容

シール、パッキン、真空機器、電材、業務用音響機器、OA 機器、システム開発、
及び食品等の総合商社

・事業の規模

主要製品の生産量・出荷額 29 億円／2022 年度

	本社	五反田支社	大阪事務所
従業員数	25 名	25 名	2 名
延床面積	303.67 m ²	190 m ²	66 m ²

五反田支社所属社員の派遣労働者 6 名を除く

・EA21 対象範囲

登録組織名： サンデン商事株式会社
対象範囲： 全組織・全活動

2. 環境経営方針

【基本理念】

『為最徳如浄気』（最徳を為するは、気を浄めるが如し）

これは、我々生物にとって必要不可欠な空気を誰からも誉められることがないとしても、常に浄化する気持ちを持ち続け、実行していくことこそ一番の環境保護であり改善であるという当社の環境理念です。地球環境の保全及び維持は、人間自体の健康で文化的な生活に欠くことのできない条件であり、自然界の摂理に従い、生態系の微妙なバランスを保って人間のエゴで崩すことのない自然環境型によって成り立っています。

当社は、人類の存続の基盤である環境が、人間活動による環境への負担によって損なわれる恐れが生じてきていることを考え、現在および将来の世代の人間が健全な環境の恵沢を享受するとともに自然環境が将来に適切に保全していくことができるよう努力して参ります。

さらに、資源の有効活用と環境汚染の予防に取り組むとともに、環境に優しい商品、技術と経営の先端情報を提供する商社として、環境にかかわる情報を積極的に提供致します。

【環境経営活動の重点項目】

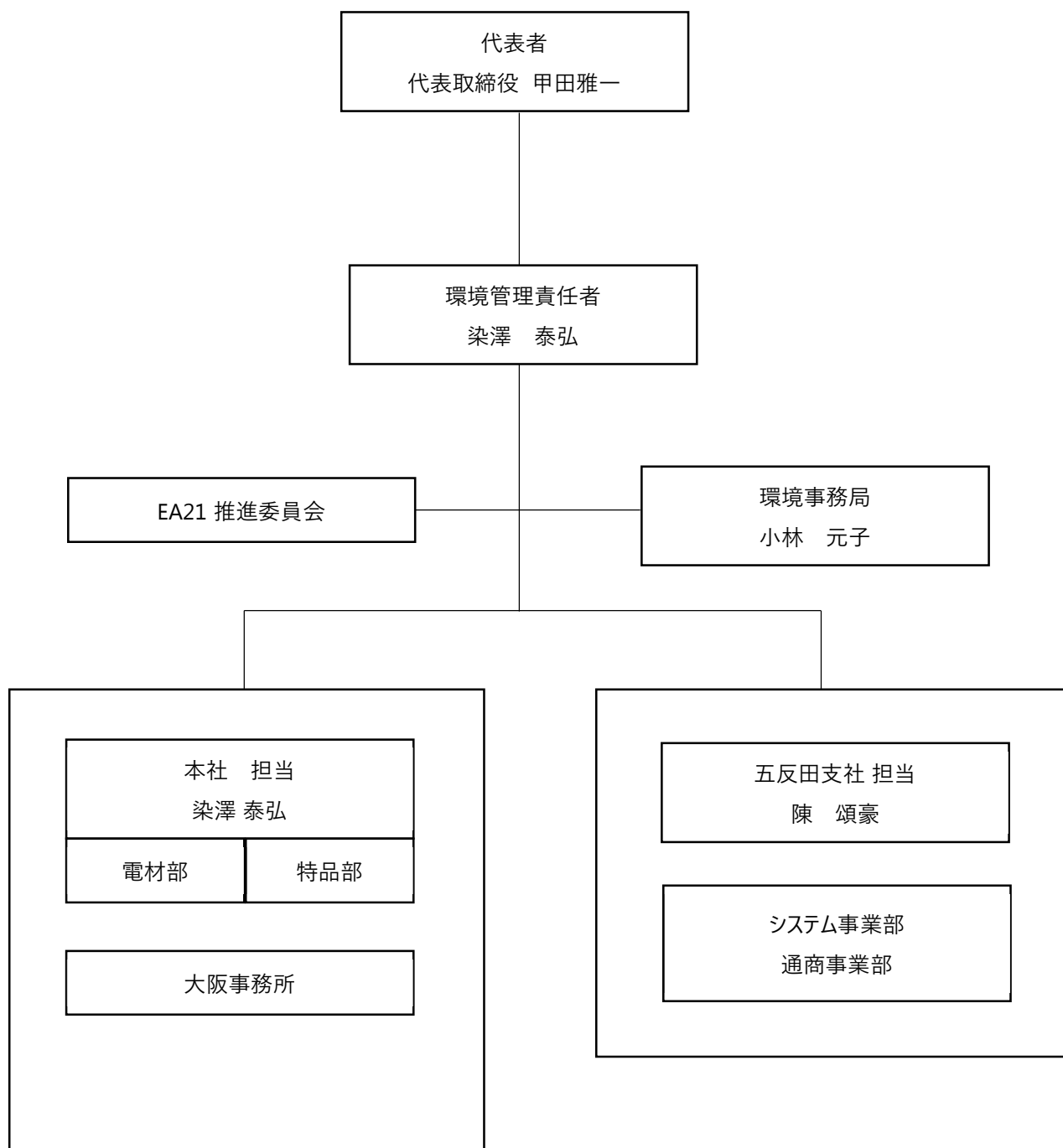
1. 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 使用原材料の省資源・廃棄物の3R（減量，再使用，再生利用）の推進
3. 水資源の節約
4. グリーン購入の推進
5. 環境に配慮した製品の開発及び販売促進

これらについて、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行ない、継続的な改善に努め、環境関連法規制や当社が約束したことを遵守いたします。

制定日：2019年11月1日
サンデン商事株式会社 環境経営方針より
代表取締役 甲田雅一

3. 環境経営組織図 及び 役割・責任・権限表

環境経営組織図



環境経営 役割・責任・権限表

代表者（代表取締役）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営方針の策定・見直し・従業員への周知 ・ 環境経営に必要な人、設備、費用、時間の準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 実施体制の構築と全従業員への周知 ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境経営目標・環境経営計画を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局 ・ 環境負荷並びに環境への取組の自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画原案の作成 ・ 環境経営計画の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開 (事務所に備え付け及び地域事務局への送付)
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営目標、環境経営計画の伝達 ・ 社員の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施 ・ 各々の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・ 効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換
各拠点担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門における環境経営システムの実施 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・ 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処理の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的かつ積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標・環境経営目標の実績

本社 - 中・長期目標 ※ 個別に記載がない場合、基準年度は2011年度（2010年10月～2011年9月）

	基準年度（2011年度）	中・長期目標		
		2021年度	2022年度	2023年度
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気（kg-CO2）	43,161	△ 12%	△ 10%	△ 10.1%
・ガソリン/軽油（kg-CO2）	30,880	△ 12%	△ 10%	△ 10.1%
・都市ガス（kg-CO2）	131 (基準年度：2017年度)	基準年度以下	基準年度以下	基準年度以下
CO2 合計（kg-CO2）	79,407	△ 12%	△ 10%	△ 10.1%
2. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物（t）	7.7	△ 12%	△ 10%	△ 10.1%
・産業廃棄物（t）	実績なし	—	—	—
3. 総排水量削減（m³）	把握できない	節水に努める	節水に努める	節水に努める
4. グリーン購入（%）	9.7 (基準年度：2016年度)	基準年度以上	基準年度以上	基準年度以上

※ CO2 排出係数は、R3年度 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数 0.457kg-CO2/kWh を使用しました。

2023年度運用結果（2022年10月～2023年9月）

	基準年度（2011年度）	目標	実績	達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気（kg-CO2）	42,402	38,972	35,359	○
・ガソリン/軽油（kg-CO2）	30,880	27,761	1,201	○
・都市ガス（kg-CO2）	131 (基準年度：2017年度)	120	180	△
CO2 合計（kg-CO2）	79,597	71,558	36,740	○
2. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物（t）	7.7	6.9	1.7	○
・産業廃棄物（t）	実績なし	—	—	—
3. 総排水量削減（m³）	把握できない	—	—	—
4. グリーン購入（%）	9.7 (基準年度：2016年度)	基準年度以上	33.3	○

○：目標達成 △：目標未達成但し基準年より改善 ×：目標未達成

五反田支社 - 中・長期目標 ※ 個別に記載がない場合、基準年度は 2011 年度（2010 年 10 月～2011 年 9 月）

	基準年度（2011 年度）	中・長期目標		
		2021 年度	2022 年度	2023 年度
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kg-CO2)	33,922	△ 12%	△ 10%	△ 10.1%
・ガソリン/軽油 (kg-CO2)	—	—	—	—
・都市ガス (kg-CO2)	—	—	—	—
CO2 合計 (kg-CO2)	33,922	△ 12%	△ 10%	△ 10.1%
2. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物 (t)	3.6	△ 12%	△ 10%	△ 10.1%
・産業廃棄物 (t)	2.0 (基準年度：2017 年度)	基準年度以下	基準年度以下	基準年度以下
3. 総排水量削減 (m³)	139	基準年度以下	基準年度以下	基準年度以下
4. グリーン購入 (%)	45.9 (基準年度：2016 年度)	基準年度以上	基準年度以上	基準年度以上
5. 環境配慮製品「高機能パッキン (カルレッツ)」の販売 (万円)	対象品目なし	—	—	—

※ CO2 排出係数は、R3 年度 東京電力エナジーパートナー(株)の調整後排出係数 0.457kg-CO2/kWh を使用しました。

2023 年度運用結果（2022 年 10 月～2023 年 9 月）

	基準年度（2011 年度）	目標	実績	達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気 (kg-CO2)	33,922	31,178	25,541	○
・ガソリン/軽油 (kg-CO2)	—	—	—	—
・都市ガス (kg-CO2)	—	—	—	—
CO2 合計 (kg-CO2)	33,922	31,178	25,541	○
2. 廃棄物排出量削減				
・一般廃棄物 (t)	3.6	3.2	0.5	○
・産業廃棄物 (t)	2.0 (基準年度：2017 年度)	基準年度以下	2.6	△
3. 総排水量削減 (m³)	139	基準年度以下	145	×
4. グリーン購入 (%)	45.9 (基準年度：2016 年度)	基準年度以上	30.1	×

○：目標達成 △：目標未達成但し基準年より改善 ×：目標未達成

5. 環境経営計画・取組結果と評価、次年度の取組内容

本社：

環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減 <電気> ① 担当者による空調温度チェックと調整 ② 空調温度の適正化（冷房 28℃、暖房 22℃） ③ クールビズ・ウォームビズ実施 ④ こまめな消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・室温管理の徹底を心がけました。 ・室内の適正な温度調整を社員に周知し協力を呼びかけました。 ・使用していない部屋の消灯を徹底しました。 → 電気代削減目標値を達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施するようにします。 ・節電を意識します。 ・室温管理の更なる徹底を意識します。
二酸化炭素排出量削減 <ガソリン・軽油> ① ドライバーへのエコ運転指導・啓蒙 ② 停車時のアイドリングストップの励行 ③ 急加速・急停車の防止 ④ 定期的にタイヤ空気圧をチェック ⑤ 冷房の控えめ使用	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの意識向上を図りました。 ・段階的に社有車の台数を減らしました。 → 安全運転に効果がありました。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きエコ運転の指導を徹底します。 ・車両利用の効率化を検討します。
廃棄物排出量削減 <一般廃棄物> ① 分別の徹底と担当者の見回り ② 印刷物の削減意識向上 ③ 紙類のリサイクルやごみの資源化 ④ ミスコピーの削減 ⑤ シュレッダー排紙のリサイクル化 ⑥ 電子メディアによるペーパーレス化	<ul style="list-style-type: none"> ・紙ゴミ類の資源化に努力しました。 ・紙利用から電子媒体の積極的利用を促進しました。 → 意識改革が継続してきています。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き分別を徹底すること、および再資源化を心がけるよう努力を継続します。 ・無駄な印刷を避けるようにします。
総排水量の削減 ① 節水の呼びかけ実施	<ul style="list-style-type: none"> ・定量把握はできませんが、節水シールを貼るなどして意識向上を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の意識を継続的に向上させていきます。
グリーン購入 ① グリーン購入を意識するよう、周知徹底を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン商品の購入の意識が定着しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・購入時にチェックすることを心がけるよう、継続的に意識向上を図ります。
環境配慮製品「高機能パッキン（カルレッツ）」の販売促進 ① ロングライフ製品、高機能パッキンの販売促進 ② 高機能製品の紹介、入替促進	<ul style="list-style-type: none"> ・販売努力がみられますが、コロナ以降売上げが改善しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に営業・販売するよう努力します。 ・環境保護経営を意識します。

五反田支社：

環境経営計画	取組結果と評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減 <電気> ① 空調温度のチェックと調整 ② 空調温度の適正化（冷房 28℃、暖房 22℃） ③ クールビズ・ウォームビズ実施 ④ 使用していないスペースの消灯および昼休み等休憩時の消灯	<ul style="list-style-type: none"> ・意識して消灯を心がけました。 ・エアコン使用時に温度を意識するようにしました。 → 電気代削減目標値を達成できました。	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していないスペースの消灯を徹底していきます。 ・適切な室温管理の心がけを継続します。
廃棄物排出量削減 <一般廃棄物> ① 分別の徹底と担当者の見回り ② 印刷物の削減意識向上 ③ 紙類のリサイクルやごみの資源化 ④ ミスコピーの削減 ⑤ シュレッダー排紙のリサイクル化 ⑥ 電子メディアによるペーパーレス化	<ul style="list-style-type: none"> ・分別、再資源化の努力が継続されています。 → 廃棄物削減に効果がありました。	<ul style="list-style-type: none"> ・分別の徹底と、再資源化をさらに意識するようにします。
廃棄物排出量削減 <産業廃棄物> ① 分別の徹底とリサイクル化の促進 ② リサイクル業者の選定と連携強化 ③ リサイクル保管場所の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・分別を徹底しました。 ・リサイクルを意識しました。 → 意識付けが継続しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き分別を徹底すること、およびリサイクルできるものは積極的に業者と連携するようにします。 ・節約と物資の長期利用を心がけます。
総排水量の削減 ① 節水シール貼付とポスター等による啓蒙活動実施 ② 環境教育等による意識向上	<ul style="list-style-type: none"> ・節水シールの貼付等により節水意識の向上が図られています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水活動を継続して実施します。
グリーン購入 ① グリーン購入の強化 ② 事務用品の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・限界を感じますが、グリーン商品の購入の意識付けができていていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き意識して向上を図ります。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果 ならびに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、9月30日遵守評価の結果、これらへの違反はありませんでした。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用関連環境法規等	適用される事項 (事業活動、施設、物質等)	遵守状況の確認・評価
廃棄物処理法 品川区・港区 廃棄物条例 消防法	廃プラ等の産廃 事業系一般ごみ 防火管理者選任 (届出) 消防計画の策定 (届出)	委託契約等 問題無し 届出・標識等 問題無し

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

弊社は社員一丸となって環境経営及び品質保全活動を行っています。コロナ以降の経済活動が徐々に回復する中、社内では、整理整頓、廃棄物の分別の徹底、ペーパーレス化、オンライン会議の活用、社有車の減車等、環境保護とCO2削減に役立つ活動を実施してまいりました。また、社内スペースの有効活用のため古い什器類を処分したため2023年度は産業廃棄物の廃棄が一時的に増加しました。今後もエネルギーの効率的な利用と適切な節約を意識して営業活動をするよう従業員に徹底していきます。これらの点を社内で周知し実践するよう指示しています。引き続きグローバル社会における責任を果たしサステナブル社会の発展に貢献し継続的に環境改善に取り組んでまいります。

(以上)